

平城宮発掘調査報告 XVII

第一次大極殿院地区の調査 2

目 次

第Ⅰ章 序 言 1

1 調査の経緯と経過	1
A 『平城報告 XI』と時期区分	1
B 宮跡整備と発掘調査	2
C 第一次大極殿の復原	3
2 調査体制	4
3 報告書の作成	5

第Ⅱ章 調査概要 7

1 調査地域	7
A 調査位置	7
B 測量と地区割	9
2 調査の概要	10
A 第28次調査	10
B 第92次調査	11
C 第170次調査	11
D 第177次調査	12
E 第192次調査	13
F 第217次調査	14
G 第262次調査	16
H 第295次調査	16
I 第296次調査	18
J 第303-13次調査	19
K 第305次調査	19
L 第311次調査	20
M 第313次調査	21
N 第315次調査	21
O 第316次調査	23
P 第319次調査	24
Q 第337次調査	25
R 第360次調査	26
S 第389次調査	27
3 調査日誌（抄）	29

第Ⅲ章 遺 跡 51

1 第一次大極殿院の地理的状況	51
2 地形造成の変遷	52
3 検出遺構	54
A 奈良時代以前の遺構	54
B I期の遺構	54
i I-1期の遺構	54
ii I-2期の遺構	67
iii I-3期の遺構	75
iv I-4期の遺構	77
C II期の遺構	81
D III期の遺構	91
E 平安時代以降の遺構	98
F 時期不明の遺構	99

第Ⅳ章 遺 物 101

1 木 簄	101
A 整地土出土の木簡	102
B SG8190南岸・大極殿院西辺整地土下層木屑層・炭層出土の木簡	103
C SD3825出土の木簡	108
D SD12965・SD18220出土の木簡	113
E SB18500出土の木簡	114
F まとめ	118
2 瓦磚類	121
A 軒丸瓦	121
i 単弁蓮華文軒丸瓦	121
ii 複弁蓮華文軒丸瓦	124
B 軒平瓦	134
i 偏行唐草文軒平瓦	134
ii 均整唐草文軒平瓦	136
C 丸 瓦	147
D 平 瓦	150
E 鬼 瓦	153
F 隅木蓋瓦	154
G 面戸瓦	154
H 稔斗瓦	155
I 文字瓦	156
J 磚	157
3 土 器	159
A 大極殿院西辺整地土下層木屑層・炭層出土の土器	160
i 土師器	160
ii 須恵器	163
B SD12965出土の土器	164

i	土師器	164
ii	須恵器	165
C	SB17870柱抜取穴出土の土器	165
i	土師器	165
ii	須恵器	166
D	SB17871柱抜取穴出土の土器	167
E	SB17874柱抜取穴出土の土器	167
i	土師器	167
F	SB18140柱抜取穴出土の土器	167
G	SX18160出土の土器	168
i	土師器	168
ii	須恵器	168
H	SK17910出土の土器	168
i	土師器	169
I	SK17905出土の土器	169
i	土師器	169
J	SK17907出土の土器	170
i	土師器	170
ii	須恵器	170
K	SD18155出土の土器	171
L	SD18143出土の土器	171
i	土師器	171
ii	須恵器	172
M	SB14200柱抜取穴出土の土器	172
N	SD3825C出土の土器	173
i	土師器	173
ii	須恵器	175
O	SK3831～3833・SK3835出土の土器	176
i	土師器	177
ii	須恵器	179
P	SB18500柱抜取穴出土の土器	180
i	土師器	180
ii	須恵器	181
Q	陶 砥	182
R	墨書土器・墨画土器	182
4	木製品	193
A	SB18500出土の木製品	193
i	祭祀具	193
ii	食事具	194
iii	容 器	195
iv	その他	195
v	用途不明品	197
vi	大型木製品	198
B	SD3825出土の木製品	198
i	祭祀具・楽器	198
ii	調度品・文房具ほか	200
iii	工 具	201
iv	服飾具・武器	202
v	食事具	202
vi	容 器	202
vii	その他・用途不明品	203

C 大極殿院西辺整地土下層木屑層・炭層出土の木製品	204
i 祭祀具・楽器	204
ii 服飾具・工具・農具	204
iii 食事具	205
iv 容器	206
v その他	207
vi 用途不明品	208
D その他の遺構および包含層出土の木製品	209
i 祭祀具	209
ii 工具・服飾具ほか	209
iii 食事具・容器	209
iv その他・用途不明品	210
5 金属製品・石製品・錢貨	221
A 金属製品	221
i 銅製品	221
ii 鉄製品	221
B 鍛冶・鋳造関連土製品	223
C 石製品	224
D 錢貨	225
6 植物遺体	226
7 木 樋	227

第V章 考 察 229

1 遺構変遷と地形復原	229
A 第一次大極殿院地区の遺構変遷	229
i 平城宮造営以前の遺構	229
ii I期の遺構	229
iii II期の遺構	236
iv III期の遺構	238
v 推定大膳職地区の遺構	238
B 第一次大極殿院地区の排水計画	242
C 第一次大極殿院地区北西部の地形	247
2 史料からみた第一次大極殿院地区	253
A 奈良時代前半—第一次大極殿院の時代	253
i 和銅3年(710)の第一次大極殿院地区	253
ii 第一次大極殿の完成	257
iii 第一次大極殿院と中央区朝堂院の成立	260
iv I-2期の整備	263
v 東西楼の付設	264
vi 大極殿仏事の展開	267
vii 恭仁宮への大極殿・回廊の移設	268
B 奈良時代後半—中央区の宮殿施設	269
i 第一次大極殿院の解体過程	269
ii II期宮殿施設の成立—もうひとつの御在所の造営	271
iii 西宮の確定と中宮院	274

iv	II期宮殿施設と仏事	277
v	法王宮	279
vi	宝龜・延暦年間の西宮	281
C	平安時代初期—平城太上天皇宮と王家領平城旧宮	283
i	平城太上天皇と平城旧宮	283
ii	天長年間以降の平城旧宮	286
3	建物廃絶時の祭祀—SB18500出土木製品を中心に一	299
A	はじめに	299
B	第一次大極殿院東西楼の柱穴から出土した木製品の様相	299
C	第一次大極殿院東西楼の柱穴から出土した木製品の性格	302
D	斎串A 2を用いる建物廃絶にともなう祭祀の位置づけ	305
E	おわりに	305
4	軒瓦からみた第一次大極殿院地区の変遷	307
A	第一次大極殿院における軒瓦の状況	307
B	東西楼所用瓦の問題	309
i	瓦の年代論	309
ii	6304C-6664Kの年代観	310
C	「西宮」の屋根景観の実態	312
D	その他の瓦	315
5	土 器	317
A	「茶褐色木屑層・炭層」出土の土器群	317
B	II期建物柱抜取穴の土器群	320
i	『平城報告 XI』所載土器群との比較	320
ii	平城宮土器Vの土器群	323
	第VI章 結 語	325
	英文要約	329
	軒丸瓦・軒平瓦計測表	342
	出土木簡釈文(抄)	360
	奥付・抄録	

挿図目次

図1	第一次大極殿院地区調査位置図	8
図2	第28次調査遺構図・地区割図	10
図3	第92次調査遺構図・地区割図	11
図4	第170次調査遺構図・地区割図	12
図5	第177次調査遺構図・地区割図	12
図6	第192次調査遺構図・地区割図	13
図7	第217次東調査区遺構図・地区割図	14
図8	第217次西調査区遺構図・地区割図	15
図9	第295次調査遺構図・地区割図	17
図10	第296次調査遺構図・地区割図	18
図11	第305次調査遺構図・地区割図	20
図12	第311・313次調査遺構図・地区割図	22
図13	第315次調査遺構図・地区割図	23
図14	第316次調査遺構図・地区割図	24
図15	第319次調査遺構図・地区割図	25
図16	第337次調査遺構図・地区割図	26
図17	第360次調査遺構図・地区割図	27
図18	第389次調査遺構図・地区割図	28
図19	現状地形とボーリング調査（『平城報告 XI』より転載）	52
図20	大極殿SB7200遺構平面図	55
図21	SB7200基壇・階段外装据付・抜取痕 跡断面図	56
図22	磚積擁壁SX6600 断面図	58
図23	磚積擁壁SX6600 立面図	58
図24	南門SB7801北辺 平面図・断面図	60
図25	南門SB7801南面階段地覆抜取痕跡	60
図26	南面築地回廊SC7820側柱礎石据付・ 抜取穴	61
図27	南面築地回廊SC7820基壇断面図	63
図28	SC13400・SA13404・SC14280 基壇断面図	65
図29	SD3825断面図	68
図30	SX18600見切り石列	69
図31	西楼SB18500断面図	70
図32	西楼SB18500柱穴平面・断面図	71
図33	石組暗渠SX18257・SX18259	74
図34	SG8190南岸断面図	74
図35	SG8190断面図	74
図36	掘立柱塀SA13404柱穴	76
図37	木樋暗渠SD13403	78
図38	木樋暗渠SD17960～SD17963	79
図39	SB7155・SB7172・SB18140柱穴	82
図40	II期建物遺構柱穴	83
図41	SC14280礎石据付・抜取穴	86
図42	SB17880平面図	87
図43	石組暗渠SD18160	87
図44	SB145柱穴	88
図45	SD18220断面図	90
図46	III期建物遺構柱穴	92
図47	SB8310平面図	95
図48	SB14300柱穴	96
図49	SB12342柱穴	97
図50	SX14207・SX14203	98
図51	鋳造関連遺構平面図	99
図52	SD3825出土木簡の分布	109
図53	軒丸瓦1	121
図54	軒丸瓦2	122
図55	軒丸瓦3	123
図56	軒丸瓦4	124
図57	軒丸瓦5	125
図58	軒丸瓦6	126
図59	軒丸瓦7	127
図60	軒丸瓦8	128
図61	軒丸瓦9	129
図62	軒丸瓦10	130
図63	軒丸瓦11	131
図64	軒丸瓦12	132
図65	軒丸瓦13	133
図66	軒丸瓦14	134
図67	軒平瓦1	135
図68	軒平瓦2	136
図69	軒平瓦3	137
図70	軒平瓦4	138
図71	軒平瓦5	139
図72	軒平瓦6	140
図73	軒平瓦7	141
図74	軒平瓦8	142
図75	軒平瓦9	143
図76	軒平瓦10	144
図77	軒平瓦11	145
図78	軒平瓦12	146
図79	軒平瓦13	147
図80	丸瓦の出土分布	149
図81	平瓦の出土分布	152
図82	SD12965出土の土器	164
図83	SB18140柱抜取穴出土の土器	168
図84	SD18155・SD18143・SB14200 柱抜取穴出土の土器	172
図85	SD3825Cの層位と接合関係（第315次）	173
図86	SK3831・SK3832・SK3835出土の土器	178
図87	第一次大極殿院地区出土の陶硯	183
図88	斎串A2の分類	194

表 目 次

図89 曲物の細部	195
図90 物差199	200
図91 刷毛の柄204（左）と工具の柄206（右）の細部	201
図92 平城宮・京出土の扉軸受金具と関連鉄製品	222
図93 輔羽口・炉覆の細部写真	223
図94 第一次大極殿院地区出土石器	224
図95 I-1期の遺構（和銅8年頃の遺構）	230
図96 I-2期の遺構（天平3年頃の遺構）	231
図97 I-3期の遺構（天平15年頃の遺構）	232
図98 I-4期の遺構 (天平末年～天平勝宝初年の遺構)	233
図99 II期の遺構（神護景雲元年頃の遺構）	237
図100 III-1期の遺構（弘仁年間の遺構）	239
図101 推定大膳職地区の遺構変遷案	241
図102 第一次大極殿院地区の排水計画	244
図103 区画施設および建物の標高と中軸からの距離	249
図104 I-3期掘立柱塀位置模式図	251
図105 I-3期掘立柱塀検出標高模式図	251
図106 宮中枢部の変遷	273
図107 西楼SB18500から出土した主要な木製品	300
図108 東楼SB7802から出土した主要な木製品	303
図109 6664型式の変遷	311
図110 II期殿舎地区西半における丸瓦・平瓦の出土量	313
図111 茶褐色木屑層・炭層出土土師器食器の法量	318
図112 SB7150柱抜取穴出土の土師器	320
図113 SB6663およびSB6666・SB7152柱抜取穴出土の土師器	321
図114 II期建物柱抜取穴出土の土師器食器法量分布	321
表1 調査地区・調査期間と調査面積	7
表2 各調査の測地系と調査地区	9
表3 今回報告する木簡の次数別・遺構別出土点数	101
表4 SD3825出土木簡の地区別点数	108
表5 SB18500柱穴別木簡出土点数	115
表6 木屑層・炭層出土土器の器種構成	161
表7 SB17870出土土器の器種構成	165
表8 SD3825C出土土器の器種構成	174
表9 SK3831等出土土器の器種構成	177
表10 SB18500柱抜取穴出土土器の器種構成	180
表11 第一次大極殿院地区出土の墨書土器	184
表12 出土土器一覧	185
表13 西楼から出土した燃えさしの数量	197
表14 出土木製品一覧	212
表15 平城宮・京出土の扉軸受金具一覧	221
表16 第一次大極殿院地区出土錢貨一覧	225
表17 第一次大極殿院地区出土植物遺体一覧	226
表18 第一次大極殿院地区西半出土木樋一覧	228
表19 I-3期掘立柱塀座標・標高一覧	250
表20 平城宮・京から出土した斎串A2一覧	305
表21 第一次大極殿院における地区別・型式別の軒瓦出土比率	308
表22 平城宮内における6304C-6664Kの分布	310
表23 土師器杯Aの調整手法と暗文構成	318
別表1 軒丸瓦計測表	342
別表2 軒平瓦計測表	345